

## 白川町新生児聴覚検査助成について

赤ちゃんは、生まれたときから、ご両親の声や周りの音を聞いて、言葉を覚え、その意味を理解して成長していきます。しかし、生まれつき耳の聞こえに障害があるお子さんが、1,000人に1~2人生まれるとされています。

聴覚障害は、赤ちゃんのうちに発見し、適切な支援をすることによって、成長発達を促すことができるとされており、新生児期に行う聴覚検査の意義も大きくなっています。

白川町では、新生児聴覚検査費の助成を行っていますので、下記を良く読んで、希望される方は検査を受けてください。

また、検査を受けない方も、受けた方も「乳児の聴覚言語発達チェックリスト」（母子健康手帳に挟んであります）を利用し、お子さんの耳の聞こえに注意してあげてください。

対象者 白川町に住所のある保護者のお子さん。一人1回。

生後50日まで。特別な事情がある場合は、生後6か月まで。

助成方法 聴覚検査を受ける際に、新生児聴覚検査受診票を検査機関に提出してください。

受診票を提出することで、**初回検査、確認検査それぞれ3,700円の助成**が受けられます。

検査費用が助成額より高額な場合、自己負担が生じます。

\*確認検査とは、初回検査で要再検となった場合に、同じ医療機関で行う検査です。

\*医療保険適用で検査を行った場合は、受診券を利用できません。

### 受診票が利用できない場合の手続き

#### 【受診票が利用できない医療機関等】

助産所	全て利用不可
県外 医療機関	全て利用不可
県内 医療機関	一部利用不可（松波総合病院、クリニックママ、ハットリレディースクリニック、いびレディースクリニック、県立多治見病院、高山赤十字病院）

#### 《受診票が利用できない場合の手続き方法》 ~検査終了後速やかに提出してください~

- ①医療機関等で検査を受け、検査料金を支払い、領収書をもらう。（何の支払いかわかるように明細書等ももらう）
- ②検査結果を母子手帳等に記入してもらう。
- ③町に申請を行う。

〔提出書類〕 新生児聴覚検査費助成申請書 申請に係る領収書（原本）  
聴覚検査結果の写し（母子手帳のコピーでも可）

☆検査方法が**OAEでの検査の場合の助成額は、初回検査、確認検査それぞれ上限1,500円**です。

生まれた病院以外でも、外来聴覚検査実施医療機関で検査を受けられます。  
（詳細は保健係へお問い合わせください。）

## Q1 新生児聴覚検査とはどんな検査ですか？

検査の方法は2種類あります。どちらの方法も赤ちゃんが自然に眠っている数分間に安全に行える検査です。赤ちゃんは、痛みを感じませんし副作用もありません。また、薬も使いません。

### ① 自動聴性脳幹反応（自動ABR）

赤ちゃんの頭にヘッドホンのような専用の器具を貼りつけて、ささやき声くらいの小さな音を聞かせて、音が聞こえたときに出る脳波の一種を検査する方法です。

### ② 耳音響放射（OAE）

赤ちゃんの耳にイヤホンを入れて、ささやき声くらいの小さな音を聞かせて、耳の中から反射してくる音を測定する検査です。

## Q2 検査の結果はどのように出るのですか？

検査結果は、異常が認められなかった場合は「パス（pass）」、もう一度、検査が必要な場合は「要再検（refer）」のいずれかです。

## Q3 検査の結果が「要再検（refer）」だった時は、どうしたらいいのですか？

検査の結果が「要再検（refer）」であっても、直ちに耳のきこえが悪いことを意味するものではありません。

生まれたばかりの赤ちゃんは、耳のきこえが正常でも耳の中に液体が残っていたり、泣いたり、動きすぎたりすると、聴覚検査にパスしないことがあります。

初回検査が「要再検」の場合、同じ医療機関で日時を改めて検査をします。（確認検査）

さらに、詳しい検査を受けていただく際は、医師から精密検査医療機関の紹介がありますので受診してください。

また、保健所、白川町保健師も相談や家庭訪問等に応じますので、お気軽にご相談ください。

## Q4 検査の結果が「パス（pass）」だったときは、耳のきこえの心配はしなくていいのですか？

「パス（pass）」の場合は、現時点で耳のきこえに異常はありませんが、成長の過程でかかる病気などにより、あとになって耳のきこえが悪くなる場合もあります。

また検査機器の精度等の理由で、まれに発見されない場合もありますので、今後も「乳児の聴覚言語発達チェックリスト」（母子健康手帳に挟んであります。）を参考にして、赤ちゃんの耳の発達に注意してあげましょう。

心配なときは遠慮せず、かかりつけの医師（産科、小児科、耳鼻咽喉科）や保健師等にご相談ください。

## Q5 検査費用はいくらかかるのですか？ 助成はあるのですか？

検査費用は医療機関によって異なります。

白川町では、検査費用（ただし初回検査、確認検査各々自動ABRは3,700円まで、OAEは1,500円まで）の助成を行っています。

【問い合わせ先】

白川町役場 保健福祉課保健係 電話 72-2317（内線361・362）